

## 第5章 各駅周辺と商店街の街づくり

### 1. 目白駅周辺の街づくり

目白駅周辺は、教育・文化施設が集積するとともに良好な住宅地が広がっている一方で、目白駅舎や目白橋は老朽化し、駅前広場はなく歩行者が錯綜していました。

そこで、これらの課題に対応していくため、地元住民・東京都・JR・都市再生機構(旧・住都公団)などの関係者で組織した「目白駅前広場等に関する連絡協議会」で「目白駅周辺地区街づくり計画」を平成9年7月にとりまとめました。

この計画の整備内容としては、目白駅周辺地区を5つのゾーンに区分し整備していくことにしました。計画の内容とこれまでの整備状況は以下のとおりです。

図表 2-5-1 ゾーン別整備内容と状況

ゾーン	整備内容と状況
駅前ゾーン	目白橋の架け替え(平成12年度完成) 目白駅舎の改築(平成12年度完成) 駐輪場の整備(平成13年度完成 台数:800台) 駅前空間及び交通広場の整備(平成14年度完成 面積:715.35㎡) 目白通り横断地下通路の建設(平成14年度完成)
商業・サービスゾーン	目白通り(歩道)の整備(平成17年度～20年度) 統一感のある魅力的な商店街づくりの推進(中・長期計画)
都市型生活ゾーン	都市型住宅の建設(平成9年度完成 7階建て3棟 138戸) 郵趣会館(切手博物館等)の建設(平成7年度完成) 住宅地及び地区道路の整備(中・長期計画) ホテルメッツの建設(平成15年度完成)
文化・教育ゾーン	区道249号線の歩行者ネットワークの整備(平成13・15年度完成) 旧運輸研修所用地の売却・学習院生涯学習センターの設置(平成11年度完成) 学習院校内の整備(中・長期計画) 旧日本造船技術センター用地の売却・都市型住宅の建設(平成17年度完成)

街づくりに関する取り組みの経緯は次のとおりです。

- 平成3年9月 清算事業団資産処分審議会より目白用地の処分の促進について提言
- 平成5年4月 駅前広場の代替地約1,000㎡を豊島区が取得
- 7月 住都公団が住宅建設計画を提示
- 平成6年3月 東京都交通局がバス回転広場施設用地約450㎡を取得
- 平成7年2月 「目白駅前広場等に関する連絡協議会」発足
- 3月 住都公団が住宅建設用地約5,200㎡を取得
- 12月 住都公団が未処分用地約2,000㎡を取得
- 平成8年10月 第8回の協議会で「目白駅周辺地区街づくり計画案」を了承
- 第四建設事務所及びJRが目白橋架け替え等工事についての説明会開催
- 平成9年7月 「目白駅周辺地区街づくり計画」策定
- 平成10年10月 目白駅周辺地区地区計画都市計画決定(1.6ha)
- 平成15年度 道の名付親運動(F・Lライトの小路他を命名)
- 平成17年度 目白通り歩道拡幅と並木の復活
- 平成22年度 国土交通省「住まい・まちづくり担い手事業」実施
- 平成24年度 目白古道(一部交差点改良)整備完了
- 平成30年度 目白銀鈴の坂エレベータ設置工事 着手